

臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成19年2月15日（木）午後2時5分～4時15分
- 2 開催場所 浦安市日の出公民館 3階 第1会議室
- 3 出席者
（委員）
舟田委員長、梅澤副委員長、小比類巻委員、山本委員、指田委員、中村委員、津矢田委員、田中委員、下田委員
（事務局）
生涯学習部長、同次長、生涯学習課長、同主幹、生涯学習推進係

4 議 題

（1）諮問について

- 1) 教育委員会からの諮問事項についての検討
 - ① 前回会議で意見聴取した答申項目「3. 学習支援」に関する素案の確認
 - ② 答申項目「4. 知識・技能を生かした地域・次世代への還元」及び「5. 他の学習の場との連携」に関する意見聴取

（2）その他

- 1) 次回会議日程について

5 議事の概要

（1）諮問について

- 1) 教育委員会からの諮問事項についての検討
 - ① 前回会議で意見聴取した答申項目「3. 学習支援」に関する素案の確認
章立て「3. 学習支援」について、これまでの会議で意見聴取した結果を事務局より読み上げ、確認した。
 - ② 答申項目「4. 知識・技能を生かした地域・次世代への還元」及び「5. 他の学習の場との連携」に関する意見聴取
上記の答申項目について、以下のポイントに沿って意見を聴取した。

●知識・技能を生かした地域・次世代への還元

ア：学習ボランティア制度の強化・活用

・講師登録制

学校・生涯学習支援ボランティア（資格や知識・技能を生かし、ボランティア活動を通じて地域の方々に何かを教えたいと考えて登録した個人や団体）の活性化

⇒制度自体の周知徹底により、継続。

・研修制度の導入

指導者としての役割・知識を習得する場の設定

⇒指導者としての心構え等、基本的な共通理解を習得する機会を提供。

・活用のための場

学校・生涯学習支援ボランティアの活用頻度を高める方策

⇒生涯学習課以外に関連する部署とのタイアップの推進。

需要（指導者）と供給（依頼者）との橋渡しのために、コーディネーターを配置。

- ・インターネット市民塾での活躍
市が計画している市民大学の一環としてのeラーニングを活用し、指導者としての活躍の場の確保
⇒同計画を推進。
- ・ボランティアの育成
学習者が指導者へと立場を変えていく際に、必要な知識を習得できる方法を取り入れ、ボランティアを育成
⇒知識を発掘するためのシステムも必要。

イ：世代間交流（学校との連携、地域との連携）

- ・技術を持った方が学校へ出張指導
⇒学校としては望んでいるが、打ち合わせを行う環境（場所や時間的な制約）が整わず、実施が難しい。
さまざまな分野を包括するボランティアグループが存在し、この団体に依頼できるようなシステムが必要。
- ・地域の施設（老人クラブ等）を活用して交流
⇒サークル活動や会合の活用のほかに、同年代が集える交流の場としても活用できることが必要。

●他の学習の場との連携

ア：大学等との連携

- ・オープンカレッジ
⇒より専門的に学習したい意向が強い。
大学等の高等教育機関だけではなく、企業との連携も視野に入れる。
- ・社会教育施設と大学
大学の専門性を生かした社会教育施設での事業の展開
⇒現に、了徳寺大学では講座等への講師派遣を積極的に展開している。
- ・教養を高めたい方への学習（専門性知識の習得）
- ・カルチャーセンター
⇒民間のカルチャーセンターの事業内容をリサーチしておく必要がある。
多様な学習意欲に対し、高等教育機関や行政のみで対処するだけではなく、民間も視野に入れて対応を考えていく必要がある。

（２）その他

1) 次回会議日程について

次回の会議は、議会会期中のため、日程を変更し、平成19年3月22日（木）の午後2時から健康センターで開催する予定である。

また、4月の臨時会についても、葛南地方社会教育連絡協議会総会が開催されるため、日程を変更し、平成19年4月26日（木）に開催する予定である。

以 上